

平成20年度

狛江市一般会計決算の認定に対する討論(要旨)

矢野市政のもと市組織の機能不全を指摘し不認定

不認定 明政クラブ 石井 功

行財政改革の進捗状況を類似団体と比較した場合、職員の定数及び人件費比率については平均値になったと一定の評価はするが、狛江市の行政面積は他の類似団体平均の3分の1であり、保育部門の定数削減も含め、さらなる定数削減を求めた。今後

不況の中、暮らしを守りながら財政基盤を確立・強化

認定 日本共産党狛江市議員 田 辺 良 彦

アメリカ発の金融危機による不況の中、利子負担も信用保証料負担も実質ゼロの緊急融資制度が実施され、今日までに114件利用された。市内共通商品券の発行準備も進められ、市民税の減額免除制度の拡充、都市計画税減税の継続も行われた。

「超目玉」の事業で「大目玉」を食らった市長は猛省を

不認定 公明党 佐々木 貴 史

これまでの福祉バスを発展的に移行するはずだった「こまバス」だが、現実には福祉切り捨ての代物。高齢者や障がい者や車いす利用者は町に出かける環境を奪われた。委託業者への補助金支出も問題がある。公明党は「こまバス」にかわる公共施設

怒れ市民、市民合意が得られないお金(税金)の使い方に不認定

不認定 民主党・行革の会 正 木 きよし

平成20年度は6月に市長選挙があり、現職市長が4選を果たした。しかし現職市長が掲げたマニフェスト(ばらまき)を裏づける予算が一体幾らになるのか答弁できなかった。無責任である。また、多選による弊害が随所にあらわれている。

どのような地域社会を目指すか基本計画に反映させよ

不認定 生活者ネットワーク・市民党 市 原 広 子

狛江市は総務省主導の財政健全化を進めてきた。一方国と地方の借金体質の象徴である地方交付税の不足分を折半して借り臨時財政対策債を目いっぱい借りてきた。今後は国の動向を見ながら、人件費にさらに切り込むような改革も必要となる。

者へ迅速に正確に報告がされなかったのはまことに遺憾である。中学校給食は一たん中止し原因究明を徹底調査し、委託事業者が信頼できると判断した段階で再開するべき。そして異物混入の実態、資料を全部つけて、「異物混入はこういう実態ですが、

Table with 2 columns: Item and Value. Items include: 虚偽の病気休暇を出し、勤務をサボリ再就職活動していた職員に対して、そのことを知っているが何もしないで給料、退職金を100%払った行為。 標準財政規模 23位↓24位 財政力指数3年平均 18位↓20位 公債費比率 26位↓26位 実質公債費比率 26位↓24位 経常収支比率 24位↓14位 地方債現在高 26位↓25位 積立金現在高 26位↓24位

そのためにはどのような地域社会、言いかえれば「新しい公共」をつくっていくかを、現在策定中の基本計画に反映させよ。 狛江市は生活保護の実際作戦をせず、小さな自治体の利点を生かして、支援が必要な人を置き去りにすることなく取り組む努力を重ねていると一定の評価をする。しかしアメリカ発世界同時不況の影響はまだ税収に出ていないが、暮らしを支援するために多くの予算が必要とされるようになっていく。社協も障がい者就労支援や東京都の生活応援プロジェクトを担うなど新

分野での働きが期待されたが課題も。子育て支援や広報にしても政策の戦略性が見受けられない。今後は自治体から国へ政策提案する意識を持って働くよう、現場からの声を自治体政策研究会など職員が組織すべき。 コミュニティバス、中学校給食、基本構想策定など各種計画策定や女性政策など時間不足のやつつけ仕事、市民参加もなおざりでお粗末な経緯と結果に本決算は認定することができない。環境政策のおくれも問題。普通財産貸貸の不透明さも見逃せない。